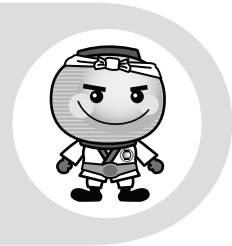


とばた こうぎょう ぎょぎょう 戸畑の工業・漁業がさかんに なったひみつをさぐるう!



とばた かいしゃ こうじょう あつ ①戸畑に会社や工場が集まるようになったわけ

めいじだいのなか、とばたやまうみに
明治時代の中ごろまでの戸畑は、山や海に
かこまれ、たはたこめやさいうみ
かこまれ、田畑で米や野菜をつくったり、海
さかなちいむら
で魚をとったりする小さな村でした。しかし
ねんめいじねんとばたたんかいしゃれん
1880年（明治13年）に戸畑炭塊社という練
たん
炭やコークス（※）をつくる工場が建てられた
とばたこうぎょうはじ
のが、戸畑の工業の始まりです。



れんたん
練炭



しょうわねんだいねんねんまきやまかいがんせきたん
昭和30年代（1955年～1965年）ごろの牧山海岸の石炭を
ためていた場所



ねんしょうわねんまきやまかいがんうみせきたん
1955年（昭和30年）ごろの牧山海岸。海ぞいに石炭が
つまれているのが見えます。

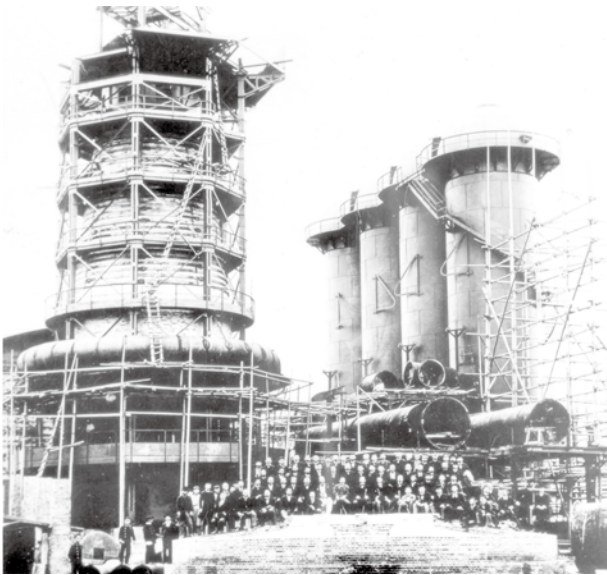
れんたんせきたんきた
この練炭やコークスのもとなる石炭は、北
きゅうしゅうしみなみちくほうたんでんふねおながわ
九州市の南にある筑豊炭田（※）から舟で遠賀川を
とおどうかいわんあつとばた
通って、洞海湾に集められていました。戸畑は
じゅうようせきたんてい
重要なエネルギーであった石炭を手に入れやす
い位置にあったため、石炭を掘り出す機械や道
ぐこうじょうせきたんうかいしゃ
具をつくる工場、石炭を売る会社などがつくら
れていきました。

ねんたいしょうねんあさひがらすねんたいしょうねんやはたせいてつしょとばた
とくに1914年（大正3年）に旭硝子、1921年（大正10年）に八幡製鐵所が戸畑にできたことで、
とばたこうぎょうきゅう
戸畑の工業は急にさかんにになりました。



せきたんねんりょうものげんりょうつか
コークス…石炭からつくられていて、燃料やいろいろな物の原料として使われるもの。
たんでんせきたんちくほうたんでんげんざいのおがたしいいづかしにほん
炭田…石炭がとれるところ。筑豊炭田（現在の直方市や飯塚市あたり）は、日本でもっと
せきたんおおたんでんきたきゅうしゅうこうぎょうおおやくわり
も石炭が多くとれた炭田で、北九州の工業に大きな役割をはたしました。

②日本製鉄九州製鉄所（八幡地区）



1900年（明治33年）建設中の東田第一溶鉱炉を、当時の伊藤博文首相が訪れたときの様子（日本製鉄株式会社提供）

1897年（明治30年）、鉄づくりに必要な石炭がとれる筑豊炭田に近かったことや、八幡村の人たちの「製鉄所を建ててください」という強いお願いがあったことなどから、日本で初めての官営（※）製鉄所を八幡につくることが決まりました。1901年（明治34年）東田第一溶鉱炉に火入れ式を行い、八幡製鉄所で鉄をつくる作業が始まりました。

1917年（大正6年）につくられた東洋製鉄戸畑工場は、1921年（大正10年）に八幡製鉄所戸畑作業所として再スタートしました。これが、今の戸畑における日本製鉄九州製鉄所（八幡地区）の歴史の始まりです。1959年（昭和34年）には、大きく海がうめ立てられ、その後の世界中の製鉄所のモデルともなりました。



大拡大中の八幡製鉄所戸畑製造所(当時)

現在、九州製鉄所（八幡地区）では、外国から輸入した鉄鉱石や石炭を原料にして製品をつくっています。さらにそこから、新幹線のレールや自動車のボディーをつくる鉄板など、たくさんのものに加工されています。

2015年（平成27年）「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産として官営八幡製鉄所旧日本事務所が世界遺産に登録されました。

※2020年（令和2年）八幡製鉄所は、製造現場の効率化を高めるため、大分製鉄所などと統合・再編成し、九州製鉄所に名前が変わりました。120年近く親しまれた八幡製鉄所の名前がなくなるのは残念ですが、「八幡製鉄所」が私たちの誇りであることに変わりはありません。



現在の日本製鉄九州製鉄所（八幡地区）（日本製鉄株式会社提供）



官営…政府がつくること。

③日本水産と戸畑の漁業



ねん めいじ ねん た まえ
1907年(明治40年)ごろ、うめ立てられる前
いちもんじかいがん
の一字海岸

めいじじだい はじ とばた ぎょぎょう さかな かいそう おお
明治時代の初めごろまで戸畑の漁業は、魚や海草が多い
どうかいわん なか おこな
洞海湾の中で行われていました。

めいじじだい お おお こうじょう とばた
明治時代の終わりごろから、大きな工場を戸畑につくる
かいがん た
ため、海岸がうめ立てられるようになりました。そのため、
さかな しごと どうかいわん なか げんかいなだ すこ とお うみ
魚をとる仕事は洞海湾の中から玄界灘など少し遠くの海へ
か
と変わっていきました。



ねん しょうわ ねん とばたぎょう
1926年(昭和30年)ごろの戸畑漁港

ねん たいしょう ねん どうかいわんいちもんじかいがん
1926年(大正15年)になると、洞海湾一字海岸のう
た かんせい きんだいてき だいぎょう けいかく
め立てが完成し、近代的な大漁港をつくるのが計画され
ました。

ねん しょうわ ねん きょうどうぎょぎょう いま にっぽんすいさん
1929年(昭和4年)には、共同漁業(今の日本水産)
いちもんじかいがん にほんいち えんようぎょぎょう きち
が一字海岸に日本一の遠洋漁業(*)の基地をつくりまし
せいかくち うみ さかな ふね れいと う とばた はこ
た。世界各地の海でとれた魚は船で冷凍され、戸畑に運ば
こうじょう かんづめ かこう
れてから、工場でソーセージや缶詰などに加工されました。
とうじ ぎょにく う
当時、魚肉ソーセージをつくったり、売ったりすることは
ぜんこく はじ
全国で初めてでした。



ねん しょうわ ねん にっぽんすいさん
1929年(昭和30年)ごろの日本水産ソーセー
こうじょうない
ジ工場内

すいさんがいしゃ とばた れいぞうれいと
また、水産会社が戸畑にできたことによって、冷蔵冷凍
すいさんかこう かいしゃ こうじょう ぎょぎょうこうぎょう
や水産加工などの会社や工場もつくられ、漁業は工業とと
とばた だいひょう さんぎょう
もに戸畑を代表する産業になりました。



げんざい にっぽんすいさん かん
現在の日本水産ビル(ニスイパイオニア館)

ご せかいてき えんようぎょぎょう かん き
その後、世界的に遠洋漁業に関する決まりがきびしくな
いぜん せかい うみ じゅう さかな
り、以前のように世界の海で自由に魚をとることはできな
げんざい にっぽんすいさんとばたこうじょう さかな
くなりましたが、現在も、日本水産戸畑工場では、魚のす
み
り身からソーセージやハムなどをつくり、全国の市や町へ
おく だ
送り出しています。



えんようぎょぎょう きち ちか とお りょう
遠洋漁業・・・基地の近くではなく、遠くはなれたところで漁をすること。

とばた かいしゃ こうじょう
④戸畑にあった会社や工場

みつびしまきやまがいたんせいぞうしょ
三菱牧山骸炭製造所

この工場は、1898年（明治31年）に建てられました。石炭からつくられるコークスのほかに、アンモニア、タール油、ベンゾールなどがくやくひんの化学薬品もつくられました。



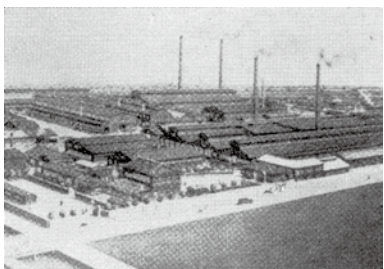
めいじほうせき
明治紡績

1908年（明治41年）、安川敬一郎・松本健次郎によってつくられました。安川・松本家は同じ年に明治鉱業も作り、戸畑を拠点に活やくしました。



とばたいもの
戸畑鋳物

1910年（明治43年）に鮎川義介によってつくられた、後に日産自動車や日立金属となる会社です。日本で初めて工業製品をアメリカやヨーロッパに輸出したのはこの会社といわれています。



あさひがらすまきやまこうじょう
旭硝子牧山工場

この工場は、1914年（大正3年）に、旭硝子の2番目の工場として建てられました。1929年（昭和4年）ごろは、板ガラス（※）の生産量が世界第2位でした。

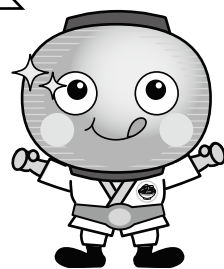


とうようせいいてつとばたこうじょう
東洋製鉄戸畑工場

1917年（大正6年）に鉄をつくる工場として建てられました。後で八幡製鐵所と合流になりました。



このほかにも戸畑には
 たくさんの会社や工場が
 つくられたんだよ。



いもの かねつ と きんぞく かた なが こ ひ かた あと かた と だ きん
 鋳物・・・加熱して溶かした金属を型に流し込み、冷えて固まった後、型から取り出した金属製品のこと。
 いた まど くるま いた
 板ガラス・・・窓ガラスや車のフロントガラスなど、板になっているガラスのこと。

⑤九州工業大学（明治専門学校）と旧松本家住宅

きゅうしゅうこうぎょうだいがく

九州工業大学

きゅうしゅうこうぎょうだいがく ねん めいじ ねん
九州工業大学は、1909年（明治42年）
やすかわけいいちろう めいじせんもんがっこう
安川敬一郎によって「明治専門学校」
なまえ
という名前でつくられました。
せきたんがいしゃ かいしゃ けいえい
石炭会社などたくさんの会社を経営
やすかわけいいちろう にほん こうぎょう
していた安川敬一郎は、日本の工業を
ひと そだ
さかんにするため、すぐれた人を育て
がっこう めいじせんもんがっこう
る学校として明治専門学校をつくりま
とうじ このようながっこう ぜんこくてき
した。当時、このような学校は全国的
とばた はってん おお
にもめずらしく、戸畑の発展に大きな
やくわり
役割をはたしました。

ご こくりつ だいがく げんざい
その後、国立の大学となり、現在は
こうぎょうじょうほうかがく けんきゅう きょう
工業や情報科学(※)についての研究や教
いく おこな
育が行われています。

きゅうしゅうこうぎょうだいがく
また、九州工業大学のとなりにある
めいじがくえん ねん めいじ ねん めい
明治学園は、1910年（明治43年）に明
じせんもんがっこうふぞくしょうがっこう
治専門学校附属小学校としてつくれ、その後、明治専門学校から独立し、明治学園となりました。
げんざい ちゅうがっこう こうとうがっこう あわ がっこう
現在では中学校、高等学校を併せもつ学校となっています。



ねん しょうわ ねん きゅうしゅうこうぎょうだいがく
1950年（昭和25年）ごろの九州工業大学



やすかわけいいちろう
安川敬一郎
かぶしきがいしゃやすかわでんきていぎょう
(株式会社安川電機提供)



げんざい きゅうしゅうこうぎょうだいがく せいもん
現在の九州工業大学の正門

旧松本家住宅（西日本工業倶楽部）



ねん めいじ ねん やすかわけいいちろう こ
1912年（明治45年）、安川敬一郎の子どもで
まつもとけんじろう したく
ある松本健次郎によってつくられました。自宅
だけでなく、げいひんかん（お客さまと話をした
り食事をするとところ）としても使われました。
とうじ このままのこっている数少ない建物として、
くに じゅうようぶんかざい
国の重要文化財になっています。

じゅうたんやソファがあるようかん（がいこくふう たて
もの）と、たたみのあるにほんかん（にほんふう たてもの
建物）の両方があります。ようかん とうきょうえき せっけい
洋館は東京駅などの設計で
し けんちくか たつのきんご
知られる建築家・辰野金吾、タピストリーやス
テンドグラスはようがが わださんぞう
洋画家・和田三造によるものです。



じょうほうかがく つか しりょう あつ せいり
情報科学...コンピュータを使って資料を集めたり、整理したりすること。



⑥ まちなみの整備と海岸線のうつりかわり(1868年～1945年ごろ)

もともと戸畑は土地がせまかったので、新しい工場や港をつくるために、1879年(明治12年)ごろから1976年(昭和51年)ごろまでの約100年の間に海岸がうめ立てられました。そして明治の中ごろから昭和にかけて、洞海湾から戸畑駅にかけての地域には、たくさんかいしゃ こうじょうの会社や工場がつけられました。



いま わかとおおはし なか しま めいじじだい
今の若戸大橋ふきんにあった中の島(明治時代)



た まえ なかばるかいすいよくじょうしょうわ はじ
うめ立てられる前の中原海水浴場(昭和の初めごろ)



工業がさかんになると人口も増え、まちには生活に必要な商店、銀行、市場などがつけられました。鉄道や路面電車、渡船なども整備されて、交通も便利になりました。



たいしょうじだい お とばたわたしば
大正時代の終わりごろの戸畑渡場



たいしょうじだい お とばたしがい
大正時代の終わりごろの戸畑市街

～歌人・若山牧水(※)が見た戸畑～

「新墾のこの坂道のすそとほし 友のすがたの其処ゆ登り来」
この歌は、1925年(大正14年)11月に、若山牧水が鞘ヶ谷とうげ こ とばた おとず よ にいはり の峠を越えて戸畑を訪れたときに詠んだものです。「新墾」といふ言葉から、そのころの戸畑が、山や谷を新しく切りひらいていたことがわかります。



とばたとしょかんしきちない わかやまぼくすい か ひ
戸畑図書館敷地内にある若山牧水の歌碑



わかやまぼくすい ねん ねん めいじ しょうわ かつ にほん だいひょう かじん
若山牧水(1885年～1928年)・・・明治から昭和にかけて活やくした、日本を代表する歌人
(=和歌をつくる人)。牧水は、戸畑のまちを3回訪れています。